

2026 年度

入学試験募集要項

器楽優秀者総合型選抜

(ピアノ演奏家コース、弦・管・打楽器)

アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

- 大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式を捉える力、楽典の知識が、一定のレベルに達していることが重要です。
- 音楽の学習には外国語も必要です。
- 専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

専攻のアドミッション・ポリシーは次の通りです。

器楽専攻

●ピアノ演奏家コース

プロフェッショナルな音楽家として社会で活動できるよう、ピアノに限定することなく音楽に関して幅広い体験を積み、国内外を問わず活動の場を拡げていく意欲のある人材を求めます。器楽専攻ピアノよりも高度なピアノ演奏能力を目指すために、一定水準以上のピアノ演奏技術と演奏スタイルを習得していることが必要です。

●弦楽器

弦楽器独特の美しく豊かな響きを追求し、様々な音楽分野での活躍を希望する人を求めます。各楽器において、基礎的な演奏技術と表現力を有していることが必要です。

●管打楽器

管楽器と打楽器において、高度な技術と豊かな表現力の獲得を目指し、様々な音楽分野での活躍を希望する人を求めます。各楽器において、基礎的な演奏技術と表現力を有していることが必要です。

ミュージック・リベラルアーツ専攻

音楽を愛し、音楽を専門分野として修得する意欲をもつとともに、高等学校までの基礎的な英語力があり、人や社会、歴史に幅広く関心を持ち、主体性をもって学ぶ意欲のある学生を歓迎します。

東京音楽大学

2026年度 東京音楽大学 器楽優秀者総合型選抜 募集要項

(ピアノ演奏家コース・弦管打楽器)

本試験は、専門実技において卓越した才能があると共に、専門実技・教養研鑽への意欲旺盛な志願者の選抜を目的とした入学試験です。

受験結果により学費全額、または一部が免除される場合があります。ただし、合格しても奨学金対象者にならない場合もあります。

1. 募集専攻・募集人員

募集専攻	コース・楽器	募集人員 (全ての総合型選抜合わせて)
器楽専攻	●ピアノ演奏家コース	110名
	●ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター	
	●フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン	
	●ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム	
●打楽器		
ミュージック・リベラルアーツ専攻	●ピアノ演奏家コース	

2. 出願資格

次の1.～3.の条件のいずれかに該当し、かつ4.～8.のすべてに該当する者とします。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校の3年次を修了した者および2026年3月修了見込みの者
3. 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者(2026年3月31日修了見込みの者を含む)、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 指定された専修学校の高等課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Aレベル・国際Aレベル(いずれも3科目以上でE以上の評価を取得していること)、欧州バカロレア資格を保有する者および2026年3月31日までに保有見込みの者
 - (5) 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia)の認定を受けた教育施設12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (6) 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者および2026年3月31日までに合格見込みの者
4. 日本国籍もしくは、在留資格が永住者の外国籍の者
5. 2026年4月1日時点で20歳以下の者
6. 学業、人物ともに優れ、本学への入学を専願とする者
7. 音楽に対し深い愛情を持つとともに卓越した音楽性や技術を有し、音楽文化に貢献していく強い意志を持つ者
8. 「楽典」「新曲視唱」「聴音」の音楽基礎能力を有する者

※上記に加え、器楽専攻(ピアノ演奏家コース)またはミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)で受験する場合は、以下9.に該当していること。

9. 出願時点で国内外の音楽コンクールにおいて入賞した者または演奏家活動をしている者

※総合型選抜、器楽優秀者総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校制)、社会人入学試験、外国人留学生選抜について、同一年度にこれらの選抜試験の複数に出願することはできません。

※在留資格が永住者以外の外国籍の方は、外国人留学生選抜を受験すること。

3. 出願要件 ※ミュージック・リベラルアーツ専攻のみ

次の条件のいずれかに該当する者。

出願時に証明書の原本を1種類提出すること。

- ケンブリッジ英語検定 140 以上
- 実用英語技能検定 2 級 以上
- GTEC(アセスメント版を除く) 960 以上(2023 年 3 月末まで取得)/930 以上(2023 年 4 月以降取得)
- IELTS 4.5 以上
- TEAP 225 以上
- TEAP CBT 420 以上
- TOEFL iBT® 52 以上
- TOEIC® (L&R/S&W) 1150 以上(公開テストのみ)※
- TOEIC Bridge® (L&R/S&W) 170 以上(公開テストのみ)※
- 国内外を問わず中高等教育において直近 3 年以上継続して主として英語で教育を受けた者
- 国際バカロレア(IB)資格取得者
- SAT 資格取得者(東京音楽大学の登録コード番号は 7804 です)

※TOEIC および TOEIC Bridge (L&R/ S&W)については、S&W のスコアを 2.5 倍にして合算

4. 選考方法

この入学試験は総合型選抜方式によるものとし、書類審査、実技試験および面接で選考します。

ただし、器楽専攻(ピアノ演奏家コース)またはミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)で受験する場合は、1 次試験は書類審査(志望理由書、調査書等)、2 次試験は実技試験および面接で選考します。

実技試験および面接の課題は「11. 入学試験科目」を参照してください。

5. 入学検定料

28,000 円

出願期間内にWeb出願サイトから決済手続きをしてください。お支払い完了後に決済完了メールが送信されます。

※一旦納入された入学検定料は返金いたしません。

6. 日程一覧

出願期間	2025年9月5日(金)～9月12日(金) 消印有効
------	----------------------------

■器楽専攻(ピアノ演奏家コース)またはミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)で受験する場合

1次試験	書類審査
1次試験可否通知	2025年9月24日(水) 受験者宛に通知
2次試験	2025年10月3日(金)～5日(日) 実技試験および面接
最終合格者発表	2025年11月1日(土)15:00～11月3日(月)17:00 Web 出願サイトにて発表
入学手続期間	2025年11月4日(火)～11月11日(火) 消印有効

■器楽専攻(弦・管・打楽器)で受験する場合

試験	2025年10月3日(金)～5日(日) 実技試験および面接
最終合格者発表	2025年11月1日(土)15:00～11月3日(月)17:00 Web 出願サイトにて発表
入学手続期間	2025年11月4日(火)～11月11日(火) 消印有効

- 試験会場・日程の詳細は、試験初日の3日前までに、メール等でお知らせします。
試験日時・会場に関する電話やメールでのお問合せはご遠慮ください。

<受験上・修学上の配慮を希望する志願者について>

疾病や障がいなどにより受験時や入学後の修学において特別な配慮が必要な場合、個別の状況に応じて必要かつ合理的な配慮を検討し、適切な支援を行っております。

合理的な配慮を希望される方は、URL もしくは QR コードより内容をご確認の上、申請を期日までに行ってください。

[URL]

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/43807.php>



[期日]

2025年7月15日(火)必着

<成績開示について>

入学試験を受験して志望専攻に不合格であった者から開示請求があった場合、下記のとおり行います。

[開示方法]

本学が申請書を受理後、開示内容を記載した書面を受験者本人宛に特定記録郵便にて送付します。

[開示申請期間]

2025年11月4日(火)～11日(火)必着

[開示の請求方法]

受験票、返信用封筒(返信先を明記し、320円切手を貼付した定型封筒)および申請書*を同封の上、「入学試験成績開示請求」と朱書きをして、特定記録郵便により入試課へ送付してください。

*申請書には次の(1)から(3)の事項を記載してください(様式自由)。

(1)氏名 (2)受験番号 (3)出願の専攻・コース・楽器

[宛先]

〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1 東京音楽大学入試課

TEL 03-6455-2754

<学校保健法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項について>

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ・はしか等)にかかり治癒していない場合、その感染症が他の受験者や試験監督者等に広がるおそれがありますので、入学試験を受験することはできません。また、試験当日の検温により発熱があった場合や、通常とは異なる体調不良があり感染症に罹患している可能性がある場合も、受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。

上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として、追試験等の特別措置および入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。

尚、感染状況等により事情が変わった場合には、改めてホームページ等でお知らせします。

7. 出願手続

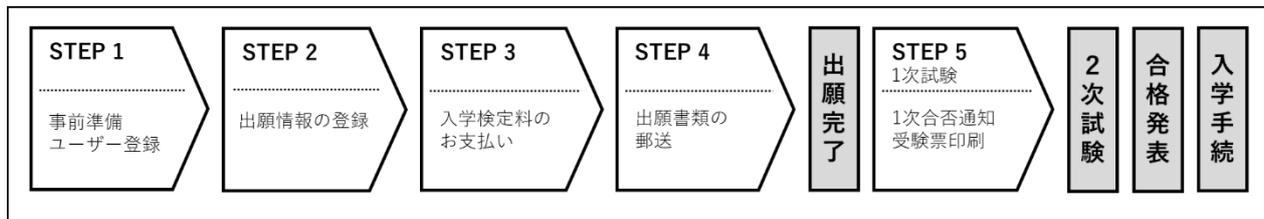
(1) 出願の流れ

本学ホームページの「入試案内(学部)」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、下記の手順に沿って出願を行ってください。

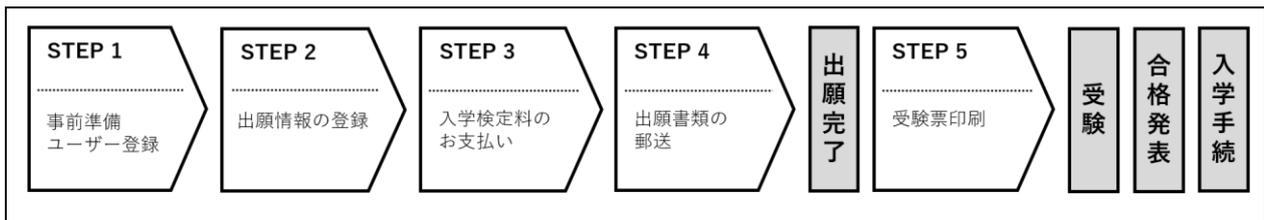
※出願書類の郵送を終えて出願完了となります。

出願ガイド https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/	
--	---

■ 器楽専攻(ピアノ演奏家コース)/ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)



■ 器楽専攻(弦・管・打)楽器



STEP 1

① Web 出願にあたっての事前準備 (詳しくは「出願ガイド」をご覧ください)

- インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかの機器
- メールアドレス

各キャリアのメールアドレスを使用する場合は、ドメイン「@contact.mescius.com」「@sbpayment.jp」「@tokyo-ondai.ac.jp」からのメール受信ができるように設定を行ってください。
入学試験用に新たに作成される場合はフリーアドレス(@yahoo.co.jp や@gmail.com 等)の取得を推奨します。

- プリンター(*)
- PDF 表示・印刷ソフトウェア
- 本人写真(カラー写真データ)
* 自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。

② 「出願ガイド」からユーザー登録を行う

同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」からユーザー登録を行ってください。

(「出願ガイド」:<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>)

※外国籍の方はパスポート、在留カードあるいは住民票に記載の氏名を姓(Family Name)名(First Name)の順にアルファベットで入力してください(漢字は不可)。ただし、在留カードあるいは住民票の氏名表記が漢字のみの場合は、漢字での入力も可能です。

フリガナについては、通常使用する読みをカタカナで入力してください。

※今年度本学受験講習会等で登録をしている方は再登録不要です。

※昨年度以前メールアドレス登録画面で「□来年度もこのメールアドレスを利用する」にチェックを入れた場合は再登録不要です。

③ 出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている必要な書類を確認・準備してください。

STEP 2

「出願ガイド」から出願登録を行う

募集要項、「出願ガイド」を確認してから、同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」から出願登録を行ってください。

STEP 3

入学検定料のお支払い

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で期限までに検定料をお支払いください。

※検定料のほかに支払手数料が必要です。

検定料支払後、「受験票印刷のお知らせメール」に従って受験票を印刷してください。

STEP 4

出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

- ① Web 出願サイトから志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずに、A4 サイズで印刷してください。
- ② 本学ホームページ「入試案内(学部)」から「出願書類ダウンロード」を選択し、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。「出願書類チェックリスト」を使用して、出願書類が全て揃っているか確認し、他の書類と一緒に提出してください。
(「出願書類ダウンロード」:<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>)
- ③ レターパックライトを使用して、表面に宛名ラベルを貼り、出願書類を郵送してください。
※レターパックはポスト投函できますが、出願期限最終日に郵送する場合は、郵便局の窓口に出すことをお勧めします。

郵送をもって出願完了となります。

STEP 5

1 次合否通知

1 次試験合否結果は、メールで通知します。

1 次試験合格者は 2 次試験当日、印刷した受験票を試験当日持参してください。

試験日程詳細は別途メールにて送信します。内容をご確認の上、試験会場にお越しください。

(2)出願書類一覧

以下の該当する書類を一括して、宛名ラベルを貼付けの上、「レターパックライト」で郵送してください。なお、以下の書類は「A.Web 出願サイト」または「B.出願書類ダウンロード」よりダウンロードし印刷してください。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)

A. Web 出願サイト (ユーザー登録・出願情報の登録、志願票・宛名ラベル印刷)

<https://lsg.mescius.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B. 出願書類ダウンロード

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>



出願書類		注意事項
1	志願票	前頁Aの URLから印刷 してください
2	宛名ラベル	志望する専攻の様式より、該当するものを提出してください。
3	曲目記入票「専攻実技」	打楽器志願者のみ提出してください。
4	楽器等使用一覧	志望理由および音楽学習歴を提出してください。 ※ミュージック・リベラルアーツ専攻志願者は日本語または英語で記入してください。
5	セッティング表	コンクール等受賞歴・演奏活動歴を提出してください。 ※ミュージック・リベラルアーツ専攻志願者は日本語または英語で記入してください。
6	志望理由および音楽学習歴	指導者(個人的な指導者、学校の音楽科教員、部活動の顧問等)が作成し、厳封したもの(1通) 《開封無効》
7	コンクール等受賞歴・演奏活動歴	前頁Bの URLから 器楽優秀者 総合型選抜 の様式を印刷 してください
8	指導者の所見	ミュージック・リベラルアーツ専攻志願者のみ提出してください (日本語または英語)。 ※履歴書(2)は海外の学校もしくはインターナショナルスクール出身者のみ提出してください。
9	履歴書(1)(2)	出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。
10	出願書類 チェックリスト	出身高等学校長が作成し、厳封したもの。《開封無効》 ●外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者は、在学した高等学校等または当該試験等の成績証明書、資格証明書をもって調査書に代えます。なお、日本語もしくは英語の証明書を提出してください。それ以外のは、大使館・公証処等の公的機関が発行した日本語の翻訳、または翻訳者としての資格を有する翻訳者による翻訳文を原本と一緒に提出してください。発行した公的機関の公印がない翻訳は受け付けません。詳細は、「卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項」参照のこと。 ●文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は在学した学校等の成績証明書をもって調査書に代えます。 ●高等学校卒業程度認定試験合格者(大学入学資格検定に合格した者を含む)は、当該試験等の合格成績証明書をもって調査書に代えます。また、在学した高等学校等の成績証明書も添付してください。 ●2学期制の高等学校で、第3学年前期までの成績が記載された調査書の提出が難しい場合は、第2学年修了時までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
11	調査書(またはそれに代わるもの)	出身高等学校長が作成し、厳封したもの。《開封無効》 ●外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者は、在学した高等学校等または当該試験等の成績証明書、資格証明書をもって調査書に代えます。なお、日本語もしくは英語の証明書を提出してください。それ以外のは、大使館・公証処等の公的機関が発行した日本語の翻訳、または翻訳者としての資格を有する翻訳者による翻訳文を原本と一緒に提出してください。発行した公的機関の公印がない翻訳は受け付けません。詳細は、「卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項」参照のこと。 ●文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は在学した学校等の成績証明書をもって調査書に代えます。 ●高等学校卒業程度認定試験合格者(大学入学資格検定に合格した者を含む)は、当該試験等の合格成績証明書をもって調査書に代えます。また、在学した高等学校等の成績証明書も添付してください。 ●2学期制の高等学校で、第3学年前期までの成績が記載された調査書の提出が難しい場合は、第2学年修了時までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
12	英語資格証明書 (「3.出願要件」参照)	ミュージック・リベラルアーツ専攻志願者は英語資格に該当する証明書の原本を提出してください(コピー不可)。 証明書は返却しません。
13	在留カードのコピーまたは住民票	外国籍志願者は在留カードのコピーまたは住民票を提出してください。 ※在留カードのコピーを提出する場合は、裏面に記載事項がなくても、必ず表・裏両面をA4サイズの用紙にコピーしてください。 ※住民票を提出する場合は、在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載を含むもので、出願時の3ヵ月以内に発行されたものを提出してください。
14	伴奏譜	本学に伴奏者を依頼する場合「伴奏譜の提出について」参照)は、事前に入試課に申し出た上で、 7月15日(火)・必着 で伴奏譜を郵送にて提出してください。 ※ただし、遠方にお住まい等やむを得ない場合に限る。

【注意】

- ※ 外国語(英語を除く)で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳または英語訳および公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限り、証明書の提出方法等については「(3)卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項」をご参照ください。
- ※ 出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。ただし、住所・氏名・電話番号に変更があった場合は、すみやかに入試課へご連絡ください。
- ※ 出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

(3) 卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項

①中国の高等学校を卒業した方

[卒業証明書]

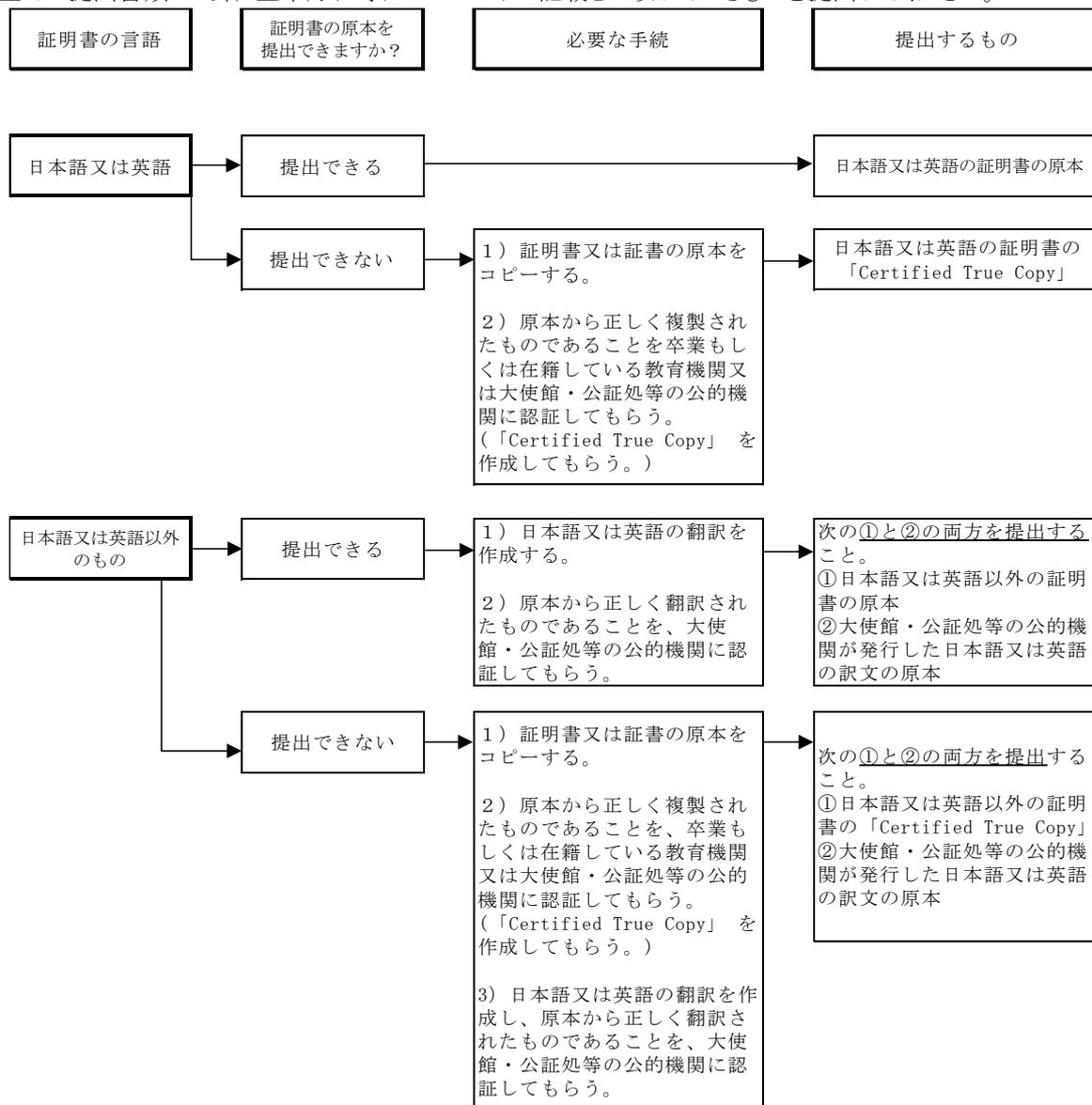
- ・中国教育部学歴認証センターまたは、中国教育部学歴認証センター日本代理機構 (<http://www.chsi.jp/>) が発行する英文の「学歴認証報告書」を提出してください。
- ・高等学校発行の証明書やその翻訳は出願書類として認められません。
- ・「学歴認証報告書」は、CHSI から直接「nyushi@tokyo-ondai.ac.jp」にメールで届くよう、手続きを行ってください。英文以外の認証報告書や、出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効とします。
- ・認証機関の発行の遅れによって提出が間に合わない場合でも出願が認められない可能性があります。発行まで1か月程度かかるため、時間に余裕をもって発行申請を行ってください。
- ・教育制度(国際部等)により、「学歴認証報告書」が提出できない場合は、高等学校が発行する卒業証明書を提出してください。なお、その場合は証明書に「国際部であるため」等、理由が記載されている必要があります。
- ・高等学校卒業見込みの方は、高等学校が発行する卒業見込み証明書を提出し、卒業後「学歴認証報告書」を提出してください。

[成績証明書]

- ・高等学校が発行する成績証明書の原本を提出してください。注意事項は「②中国以外の高等学校を卒業した方」と同様です。

②中国以外の高等学校を卒業した方

- ・卒業証明書、成績証明書等の証明書類は原本(卒業もしくは在籍している教育機関が発行し、証明した書類)、または教育機関・大使館・公証処等の公的機関より原本からの正しい複製であるという証明(Certified True Copy)を受けた書類を提出してください。
- ・日本語または英語以外の言語で記載された証明書は、大使館・公証処等の公的機関または、翻訳者としての資格を有する翻訳者による翻訳文を原本に添付してください。
- ・全ての提出書類の氏名・生年月日等はパスポートの記載と一致しているものを提出してください。



(4) 提出先

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1 東京音楽大学入試課 TEL 03-6455-2754(直通)

8. 試験会場

- ・東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス(東京都目黒区上目黒 1-9-1)
 - ・東京音楽大学 池袋キャンパス(東京都豊島区南池袋 3-4-5)
- ※試験会場・日程の詳細はメールで送信する案内を参照してください。

<アクセス>



9. 入学手続

合格者には、出願時に登録した住所に合格通知書および入学手続書類を郵送します。
上記の住所以外に送付を希望する場合は、入試課まで申し出てください。
入学手続の流れは以下のとおりです。

【1】入学金・学費等の納入 → **【2】**入学手続書類郵送 → **【3】**入学許可

(1) 入学金・学費等の納入・期間

2025年11月4日(火)～11月11日(火)までに入学金・学費等を納入するとともに、
下記書類を入試課へ簡易書留またはレターパックにて郵送してください。最終日の消印有効。
※入学金・学費等の納入期日は、必ず大学の口座に入金される日であること。
※上記の期間内に手続を完了しない者は、入学の意志がないものとして合格を取り消します。

(2) 入学手続に必要な書類

- ① 誓約書・個人情報の取扱いに関する同意書(本学所定の用紙)
- ② 住民票または住民票記載事項証明書(3ヶ月以内のもの)
- ③ 高等学校卒業証明書(高等学校卒業以外の者は資格証明書、高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は合格証明書)
- ④ 学生証用写真
- ⑤ その他本学が提出を指示したもの

※ 詳細は入学手続書類に同封される案内をご確認ください。

※ 入学までに大学入学資格を満たせなかった場合は、その旨をすみやかに入試課にご連絡ください。

※ 提出された書類の記載事項に虚偽が判明した場合、合格または入学を取り消します。

(3) 入学許可

手続きを完了した者には、入学許可書を交付します。

10. 学費その他の納入金(2025年度入学者実績・参考)

(1) 学費

器楽専攻、ミュージック・リベラルアーツ専攻

納入時期	入学金	授業料	施設等維持費(※)	合計
春学期	300,000円	743,500円	262,500円	1,306,000円
秋学期	—	743,500円	262,500円	1,006,000円

※2年次より春学期 267,500円、秋学期 267,500円

(2) 学費以外の諸費用

納入時期	後援会入会金(入学時)	後援会費(毎年)	校友会費(4年次)	卒業記念費(4年次)
春学期	10,000円	5,000円	20,000円	10,000円
秋学期	—	5,000円	—	—

(3) その他(履修者のみ)

教職課程費 (2年次以降毎年度)	第二副科実技(年額)	邦楽演奏実技(年額)
50,000円	100,000円	40,000円

本学の学費については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/expenses>



11. 入学試験科目

器楽専攻(ピアノ演奏家コース)

1. 実技試験

下記の専攻実技の課題を演奏すること。演奏箇所は当日試験委員が指定する。試験委員からの合図があるまで演奏すること。

次の(1)～(5)をあわせて60分以上のプログラムを組むこと。

※楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること。

※曲順は当日試験委員が指定する。

※すべて暗譜で演奏すること。

(1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードとフーガ)

(2) ショパン『練習曲集』Op.10, Op.25より任意の3曲

(3) 次の練習曲集の中から、任意に1曲を選択すること。

(イ) リスト

(ロ) ドビュッシー

(ハ) スクリャービン Op.8, Op.42, Op.65

(ニ) ラフマニノフ Op.33, Op.39

(ホ) プロコフィエフ Op.2

(ヘ) バルトーク Op.18

(ト) リゲティ

(4) ベートーヴェンのソナタより任意の1曲(全楽章)

(5) 自由曲 ロマン派および近現代の作品から自由選択

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

器楽専攻(弦楽器)

1. 実技試験

下記の課題曲表において、自身が志望する楽器名の課題欄に示す曲目を演奏すること。演奏箇所は当日試験委員が指定する。試験委員からの合図があるまで演奏すること。

楽器名	課題
ヴァイオリン	(1)N. Paganini: 24 Capricci per violino solo, Op.1 より任意の1曲 (No.17, 24 以外 は繰り返しなし) (2)J. S. Bach: Sonaten für Violine allein. Nr.1-3 より任意のフーガ (3)下記の協奏曲より任意の1曲または同程度の協奏曲より1曲(全楽章) F. Mendelssohn, S. S. Prokofiev No.1 または No.2, C. Saint-Saëns No.3, P. I. Tchaikovsky
ヴィオラ	(1)J. S. Bach: 6 Suiten für Violoncello allein より任意の曲からプレリュード (2)任意の古典派協奏曲の第1楽章(カデンツァの付くものはこれを含む) (3)任意の近現代協奏曲の第1楽章
チェロ	(1)D. Popper: Hohe Schule des Violoncellospiels (40 Etüden), Op.73 の No.13, 20, 22, 29 より任意の1曲 (2)J. S. Bach: 6 Suiten für Violoncello allein, No.4-6 より任意のプレリュード (3)下記の協奏曲より任意の1曲または同程度の協奏曲より1曲(全楽章) A. Dvořák, J. Haydn No.2, S. S. Prokofiev: Sinfonia concertante, R. Schumann, D. D. Shostakovich, P. I. Tchaikovsky: Rococo Variations
コントラバス	K. D. v. Dittersdorf: Konzert E-dur für Kontrabass und Orchester(ソロチューニン グ)全楽章 [Gruber 版] カデンツァを含む
ハープ	(1)G. F. Handel: Concerto for harp and orchestra B♭ major, Op.4 No.6, HWV 294 第1楽章および第2楽章のカデンツァのみ [Grandjany 版] (2)以下より1曲、または同程度の難易度、演奏時間の自由曲1曲 ・C. Salzedo: Variations sur un thème dans le style ancien, Op.30 ・M. G. L. Grandjany: Rhapsodie
クラシックギター	(1)J. S. Bach: 4 Suiten für Laute より任意のプレリュード (2)H. Villa-Lobos: 12 estudos より1曲 (3)J. Rodrigo: Concierto de Aranjuez 全楽章

【弦楽器注意事項】

- ・暗譜で演奏すること。
- ・各課題曲の版は記載のあるものを除き特に指定しない。
- ・楽器は各自で持参すること(コントラバス、ハープ以外の貸出はしない)。
- ・伴奏者および譜めくりは、志願者の責任と負担で用意することを原則とする。ただし、遠方にお住まい等やむを得ない理由で伴奏者を用意できない志願者に限り、大学が伴奏者を用意する。本学に伴奏者を依頼する場合は、事前に入試課に申し出た上で、7月15日(火)・必着で伴奏譜を郵送にて提出すること。(伴奏合わせは、原則として試験前日に行う。時間等詳細は別途連絡する。)
- ・(1)~(3)の順で演奏すること。

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

器楽専攻(管楽器)

1. 実技試験

下記の課題曲表において、自身が志望する楽器名の課題欄に示す曲目を演奏すること。演奏箇所は当日試験委員が指定する。試験委員からの合図があるまで演奏すること。

楽器名	課題
フルート	A. Jolivet: Concerto pour flûte et cordes
オーボエ	次の4曲の中から1曲を選択 J. Haydn: Konzert C-dur für Oboe und Orchester, Hob.VIIg:C1 F. Krommer [Kramář]: Concerto in F major, Op.52 L. A. Lebrun: Konzert für Oboe und Orchester, No.1 d-moll W. A. Mozart: Konzert C-dur für Oboe und Orchester, K.271k (314)
クラリネット	(1) E. Cavallini: 30 Capricci (Ricordi)より No.29 (2) 次の2曲の中から1曲を選択(第1楽章および第2楽章) L. Spohr: Konzert für Klarinette und Orchester Nr. 1, c-moll, Op. 26 L. Spohr: Konzert für Klarinette und Orchester Nr. 2, Es-dur, Op. 57
ファゴット	次の2曲の中から1曲を選択 W. A. Mozart: Konzert B-dur für Fagott und Orchester, K.191 K. Stamitz: Konzert F-dur für Fagott und Orchester (H. Sikorski)
サクソフォーン	次の3曲の中から1曲を選択 A. K. Glazunov: Concerto for saxophone and string orchestra J. Ibert: Concertino da camera R. Boutry: Divertimento
ホルン	次の2曲の中から1曲を選択 W. A. Mozart: Konzert Es-dur für Horn und Orchester, (Nr.4) K.495 R. Strauss: Konzert Es-dur für Horn und Orchester, Nr.1, Op.11
トランペット	F. J. Haydn: Konzert Es-dur für Trompete und Orchester, Hob.VIIc:1 (B♭管を使用すること)
トロンボーン	次のトロンボーン課題またはバス・トロンボーン課題を選択すること。 ■トロンボーン F. David: Concertino for trombone and orchestra, E♭ major (Zimmermann) ■バス・トロンボーン F. David: Concertino for trombone and orchestra, B♭ major (Zimmermann)
チューバ	A. Lebedjew [Lebedev]: Konzert für Tuba und Orchester, Nr.1 (Hofmeister)
ユーフォニアム	J. Horovitz: Euphonium Concerto

【管楽器注意事項】

- ・全楽章を演奏すること。カデンツァを含む。
- ・暗譜の必要なし。
- ・各課題曲の版は記載のあるものを除き特に指定しない。
- ・楽器は各自で持参すること(チューバ以外の貸出はしない)。
- ・伴奏者および譜めくりは、志願者の責任と負担で用意することを原則とする。ただし、遠方にお住まい等やむを得ない理由で伴奏者を用意できない志願者に限り、大学が伴奏者を用意する。本学に伴奏者を依頼する場合は、事前に入試課に申し出た上で、7月15日(火)・必着で伴奏譜を郵送にて提出すること。(伴奏合わせは、原則として試験前日に行う。時間等詳細は別途連絡する。)
- ・前奏、間奏が長い場合は省略可。

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に教えてください。

器楽専攻(打楽器)

1. 実技試験

下記の課題曲表において、自身が志望する楽器名の課題欄に示す曲目を演奏すること。演奏箇所は当日試験委員が指定する。試験委員からの合図があるまで演奏すること。

楽器名	課題
打楽器	課題1 ティンパニ、パーカッション、マリンバのいずれか1つを選択する 課題2 共通課題
	<p><課題1></p> <p>■ティンパニ 以下(A) (B) のいずれか1つを選択 (A) (1) W. Thärichen: Konzert für Pauken und Orchester, Op.34(ピアノ伴奏版) (2) C.O. Musser: Etude Op.11, No.4 (B) (1) E. Carter: Eight Pieces for Four Timpani (One Player) より VIII.March, I. Saëta, V. Improvisation (の曲順で演奏する) (2) C.O. Musser: Etude Op.11, No.4</p> <p>■パーカッション 以下(A) (B) (C) のいずれか1つを選択 (A) A. Jolivet: Concerto pour percussion & orchestre (ピアノ伴奏版) (B) (1)北爪道夫:サイド・バイ・サイド～打楽器ソロのための (2) C.O. Musser: Etude Op.11, No.4 (C) (1) I. Xenakis: Rebonds Part B pour percussion solo (2) C.O. Musser: Etude Op.11, No.4</p> <p>■マリンバ 以下(A) (B) (C) のいずれか1つを選択 (A) A. Koppel: Concerto No.1 for Marimba and Orchestra (2015年改訂版、ピアノ伴奏版) (B) 三善晃:トルス III (C) A. Thomas: Merlin for Solo Marimba</p>
	<p><課題2></p> <p>S.Fink: Trommel-Suite より 1. Intrada、2. Toccata の2曲から当日指定</p>
※入学後は楽器による細分はなく「器楽専攻 打楽器」です。	

【打楽器注意事項】

- ・全楽章を演奏すること。カデンツァを含む。
- ・暗譜の必要なし。
- ・各課題曲の版は記載のあるものを除き特に指定しない。
- ・課題曲表に記載の順に演奏すること。
- ・小太鼓は持参すること。小太鼓以外の楽器は大学で用意する。
- ・原則として、試験前日に大学で事前練習を行う。パーカッションを選択した場合は、事前練習の前に楽器選定を行う。
- ・伴奏者および譜めくりは、志願者の責任と負担で用意することを原則とする。ただし、遠方にお住まい等やむを得ない理由で伴奏者を用意できない志願者に限り、大学が伴奏者を用意する。本学に伴奏者を依頼する場合は、事前に入試課に申し出た上で、7月15日(火)・必着で伴奏譜を郵送にて提出すること。(伴奏合わせは、原則として試験前日に行う。時間等詳細は別途連絡する。)

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)

1. 実技試験

次の(1)～(5)をあわせて60分以上のプログラムを組むこと。
※楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること。
※曲順は当日試験委員が指定する。
※すべて暗譜で演奏すること。

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードとフーガ)
- (2) ショパン『練習曲集』Op.10, Op.25より任意の3曲
- (3) 次の練習曲集の中から、任意に1曲を選択すること。
 - (イ) リスト
 - (ロ) ドビュッシー
 - (ハ) スクリャービン Op.8, Op.42, Op.65
 - (ニ) ラフマニノフ Op.33, Op.39
 - (ホ) プロコフィエフ Op.2
 - (ヘ) バルトーク Op.18
 - (ト) リゲティ
- (4) ベートーヴェンのソナタより任意の1曲(全楽章)
- (5) 自由曲 ロマン派および近現代の作品から自由選択

2. 面接

「英語」または「英語および日本語」で行う(試験当日、本人の希望を確認する)。
音楽に関する基礎知識を問う質問を含む。また、外国人留学生には簡単な日本語能力を問う質問をします。

12. 注意事項

■受験上の注意

- ① 試験当日の集合時間など受験に関する詳細は、試験初日の3日前までにメール等で通知しますので、必ずご確認ください。試験日時・会場に関する電話やメールでのお問合せはご遠慮ください。
- ② 試験当日の大まかな流れは原則として以下のとおりです。定められた時刻までに集合場所に集合し、以降は全て係員の指示に従ってください。 **集合・受付** → **直前練習** → **試験**
- ③ 実技試験において集合時刻に遅れた者は受験を許可しません。やむを得ない事情(公的事情)により遅刻をした場合は、直ちに係員に申し出てください。
- ④ 練習室は利用できません。
- ⑤ 試験当日に持参するもの
 - ・受験票(各自で忘れずに印刷してください。受験票を持たない者は入構できません)
 - ・筆記用具
 - ・必要な楽器、スタンド等
 - ※コントラバス、ハープ、チューバ、ティンパニ、鍵盤打楽器以外の貸出しはしません。
 - ・昼食(試験が昼食時間におよぶ場合)
 - ・楽譜
 - ・時計
 - ※辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。
 - ※携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末は使用できません。
- ⑥ 伴奏者、譜めくり者について
 - ・伴奏者、譜めくり者の入構には受験者の受験票のコピーを持参してください。入構から退出まで受験者と全て行動をともし、係員の指示に従ってください。
 - ・伴奏者、譜めくり者いずれも、試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、ウェアラブル端末(腕時計型等)を身につけたり、作動させたりすることはできません。「入学者選抜試験における不正行為について」をご参照ください。
 - ・楽譜を使用する場合は、伴奏者、譜めくり者いずれも、紙のものをご用意ください。
- ⑦ 保護者の入構はできません。
- ⑧ 服装については、特に指定しません。

【入試期間中の宿泊について】

大学近郊の学生会館(有料)を利用できます。体験入寮のため、特別料金で連泊可能です。

㈱共立メンテナンス 学生会館事務局

TEL 0120-88-1030

受付時間 9:00～17:30(土日・祝日を除く)

お電話の際、東京音楽大学の受験者であることをお伝えください。

* 宿泊施設には防音設備のついた練習室はありません。

* 部屋数には限りがあるため、空室のある寮へのご案内になります。詳しくはお電話で確認の上、各自お申し込みください。

* 宿泊施設での事故等の責任は大学では負いかねます。

■出願書類の記入・提出に関する注意

Web 出願サイトでユーザー登録を行った後、本学ホームページから必要書類を印刷します。印刷した出願書類とそれ以外の必要書類(調査書等)は、すべて揃っていることを確認の上、レターパックに封入し、宛名ラベル(Web 出願サイトにて印刷)を貼り付けた上で期限内に郵送にて提出してください。本学の窓口では受け付けません。出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類は返還しません。

出願書類の記入については、以下の注意事項をよく読み、誤りや漏れのないよう記入してください。

- ①各出願書類は、黒、青インクまたはボールペンを使用し、文字は楷書で、数字は算用数字で正確に記入してください。書き損じた場合は、二重線を引いて訂正印を押し、空いているところに記入してください(修正液・修正テープは使用しないでください)。
- ②該当欄は記入または○で囲んでください。※欄は記入不要です。
- ③願書および受験票には Web 出願サイトでアップロードした写真が用いられます。Web 出願サイト上の注意事項「顔写真について」の記載に従って撮影したものをアップロードしてください。
- ④曲目記入票について
 - (1)演奏する曲名、作曲者、調性、作品番号、楽章等まで該当する欄に詳しく記入してください。
 - (2)作品番号は、「Op.30 No.2」のように明確に、漏れのないよう記入してください。
 - (3)楽章等の記入は、「第1楽章」「第2楽章」と「第」を入れて記入してください。
 - (4)曲目等の記入は、特に指定がなければ、邦語、原語どちらでも構いません。
 - (5)ピアノ自由曲で一部省略する場合は、その箇所を記入してください。
 - (6)出願後は、受験曲名、調の変更(訂正)は認めないので、間違いのないように正確に記入してください。
 - (7)曲目記入票に記入された事項(作曲者、曲目、調性、平均律巻名、楽章等)が試験で演奏したものと異なる場合、原則として失格になりますので注意してください。

※個人情報の取り扱いについて

- ①本学は、志願者の出願書類に記載された個人情報および入学試験の成績を入学試験業務に利用します。なおこれらの個人情報は個人情報保護法に則り万全の体制で管理します。
- ②本学は、上記の個人情報を大学入学者選抜および大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料としても利用します。調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
- ③本学は、願書記載事項のコンピュータ登録業務、受験票、合格通知書、入学手続書類等の発送の業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託する場合があります。

■伴奏譜の提出について

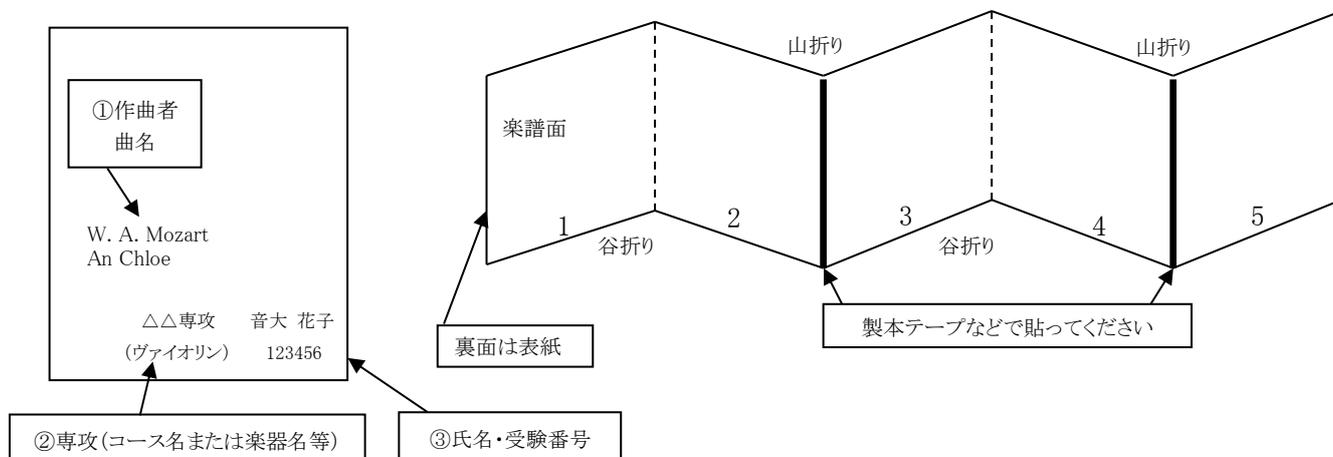
本学用意の伴奏者で受験される方は、以下の要領で課題の伴奏譜を出願書類と共に提出してください(指定課題の曲目を演奏する場合であっても提出してください)。

※出願書類送付用の封筒に入りきらない場合は、出願期間中に本学入試課まで別送してください。

○伴奏譜作成手順

- ・楽譜は A4 判縦を 1 ページとし、コピーの濃淡等を調整の上、鮮明な楽譜を提出してください。
- ・1 曲ごとに表紙にあたる白紙ページを設け、表紙ページの右下に①作曲者、曲名、②専攻・コースまたは楽器名、③氏名を記入してください。
- ・2 ページ以上になる場合は、アコーディオン状に折って、製本テープ(無地のマスキングテープ)等で貼ってください。セロファンテープは使用しないでください。
- ・課題で指定された省略(前奏、間奏、後奏)を書き込む場合は、赤インクのペン等でわかりやすく記入してください。それ以外の書き込みは不可とします。
- ・手書きの伴奏譜を作成する場合は、定規等を使用し、黒インクのペン等で正しく丁寧に清書した譜面を提出してください(鉛筆書きは不可)。

<表紙の書き方>※裏面は楽譜 1 ページ目



■入学者選抜試験における不正行為について

受験の際には、すべて試験監督の指示に従ってください。以下に該当する場合、不正行為とみなされます。

- ① 出願の際に本学に提出した書類・資料等に偽造、虚偽の記載、剽窃が見つかった場合
- ② 受験者以外の者が、受験者本人になりすまして試験を受けた場合
また、以下の行為をすると、不正行為とみなされる場合があります。
 - カンニング (カンニングペーパーや参考書、他の受験者の答案を見ること、他の受験者から答えを教わること等)をすること。
 - 使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
 - 試験開始の合図の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
 - 試験終了の合図の後に筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けること。
 - 試験時間中に、他の受験者に答えを教えるなど、他の受験者を利するような行為をすること。
 - 試験時間中に、他の受験者に迷惑となる行為をすること。
 - 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、ウェアラブル端末(腕時計型等)を身につけたり、作動させたりすること。
 - 非対面式試験において、「同意書」に記載の内容に反する行為をすること。
 - その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験実施中に不正行為と思われる行為が認められた場合、試験監督が注意し、試験の中止や退室を指示することがあります。不正行為の疑いに対処した時間があっても、その受験者は、試験時間の延長を求めることはできません。

不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、入学検定料は返還しません。

13. 奨学金・経済的支援制度について

本学の奨学金・経済的支援制度については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/12765.php>



14. 学生寮(女子)について

自宅からの通学が困難(通学時間3時間以上を目安)な学生(女子)に対し、学生寮が設けられています。

(1) 申込方法

入寮希望者は、合格者に送付する合格通知書等の書類に同封されている「2026年度東京音楽大学学生寮入寮申込書」に必要事項を記入の上、入学手続書類に同封し郵送してください。

(2) 選考

新年度の入寮可能数内で入学試験の成績・調査書類等を総合的に考慮の上、大学が決定します。申込者多数の場合、入学試験に合格しても入寮許可にならない場合があります。

(3) 発表・手続

- ①入寮を許可する者には、大学から直接通知します(1月下旬までに通知予定)。
- ②入寮許可後に辞退する場合は、至急学生支援課へ電話または、ryou_shienka@tokyo-ondai.ac.jpにご連絡ください。
- ③入寮手続の詳細は、大学からの入寮許可通知とともにお送りする入寮手続書類を参照ください。

(4) 施設・設備

- ①所在地 〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷3-22-10(池袋キャンパス敷地内)
- ②収容定員 124名(高校生20名を含む)
- ③建物の構造 地上5階
- ④寮室面積 約8㎡
- ⑤寮室備品 デスク、収納棚、ベッド、エアコン、冷蔵庫 ※Wi-Fi完備
- ⑥付帯設備 ラウンジ、浴室、洗面所、洗濯室、パソコン、コピー機

(5) 入寮費用

入寮金(入寮時のみ)	寮費
80,000 円	78,000 円(月払い・食費込) ※朝・夕 2 食(日・祝含む)

- ①寮費(月額)は、1年間にかかる総額の12等分となります。
- ②上記費用は、物価の高騰等により値上げする場合があります。

(6) その他

- ①お盆および年末年始の指定日は、閉寮となります。
- ②入寮申し込みの際には、必ず入寮案内で詳細を確認してください。
- ③不明な点は、学生支援課(TEL 03-6455-2756)までお問い合わせください。

東京音楽大学

【中目黒・代官山キャンパス】

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1

【池袋キャンパス】

〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5

ホームページアドレス <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

問い合わせ先: 03-6455-2754(入試課直通) 日・祝日除く 9:00~17:00

03-6455-2774(FAX)